



Kodak

i1800シリーズスキャナ

オペレーターズ
トレーニングガイド

キーオペレータトレーニング

コダックi1800 シリーズスキャナキーオペレータトレーニングへようこそ。このコースは、最先端の高速ドキュメントスキャナの操作と保守を理解することを目的にしています。スキャナ導入時から最高の生産性を実現できるように、コダックi1800 シリーズスキャナには設置時のプロフェッショナルサービスとして、このトレーニングコースが含まれています。

チェックリスト

このコースで取り上げる項目を以下に示します。このコースを修了するには、約1.5~2時間かかります。

- はじめに
- 参考資料
- スキャナの紹介
- 搬送部を通る原稿
- 消耗品の交換
- メンテナンス
- キャリブレーション
- 運用環境で行うスキャン作業
- 基本的な印字設定
- アクセサリの概要
- OCPとタッチスクリーンの概要
- スキャンバリデーションツール
- トラブルシューティング
- サービスについて
- 安全性について
- その他

はじめに

このトレーニングコースでは、スキャナの操作に関する実践的な演習を行います。スキャナの操作と保守に関する物理的な作業のデモンストレーションを行います。また、コダック認定技術者の支援の下で、実際にスキャナの操作も行います。消耗品の交換方法や、スキャナの推奨クリーニング手順についても説明していきます。

ただし、実際の運用環境で使用するスキャンアプリケーションについて説明はありません。コダックi1800シリーズスキャナをサポートするスキャンアプリケーションは数多くあり、世界各地のさまざまな企業から提供されています。ソフトウェアについては、ご利用のスキャンアプリケーションを提供する会社のトレーニングコースを受講することをお勧めします。スキャンアプリケーションとしてコダックキャプチャソフトウェアを利用する場合は、お客様のニーズに合わせてカスタマイズした独自のトレーニングセッションをご利用いただけます。

参考資料

スキャナの操作を理解すると、スキャナの各機能について詳しく知りたいこともあると思います。そのような場合は、以下のような資料をご活用ください。

➤ ユーザーズガイド

文書A-61555：スキャナには、英語版のガイドが同梱されています。他の言語のガイドは、Kodak i1800 Series Scanner Firmware, Drivers and Users Guide CDの\UserGuideフォルダにPDFファイルで収録されています。

スキャナの操作方法に関する不明点については、このガイドを参照してください。プリセパレーションパッドを交換する目安や、重送検知を知らせる音声の変更方法など、このコースで取り上げる内容の大半は、このユーザーズガイドで説明されています。

➤ クイックガイド

文書A-61556：スキャナには、各言語に対応した印刷版が1部同梱されています。また、Kodak i1800 Series Scanner Firmware, Drivers and Users Guide CDの\Documentationフォルダには、PDFファイルが収録されています。

このガイドは、消耗品のカタログ番号や業務終了後のクリーニング手順を手軽に確認できる、ハンディ版のリファレンスカードです。

➤ **Image Processing Guide (画像処理ガイド)**

文書A-61580 : Kodak i1800 Series Scanner Firmware, Drivers and Users Guide CDの \Documentフォルダに、英語版のみがPDFファイルで収録されています。

このガイドでは、スキャナを使ったさまざまなスキャン方法を説明しています。「TWAIN またはISISドライバの画像品質に関するオプションは？」または「3レベルインデックスのレベルルールに従った設定方法は？」など、さまざまな疑問に対する説明や詳細が記載されています。オペレータの方には、このような情報は必要ありません。ただし、ジョブの設定に携わる場合は、このガイドに記載されている情報をぜひ参照してください。

➤ **Installation Planning Guide**

文書A-61578 : 英語版のみがPDFファイルで用意されています。このガイドはコダックのサービスエンジニアから入手できます。

このガイドはスキャナが設置される前に提供されます。このガイドを参考に、スキャナの設置を行います。このガイドには、お客様およびコダック向けの設置場所に関する要件（電力品質）や、レイアウトなどの情報が記載されています。

➤ **Brightness & Contrast Control Reference Guide (ブライトネス&コントラストコントロールの操作リファレンスガイド)**

文書A-61587 : Brightness and Contrast Control CDに英語版のみがPDFファイルで収録されています。

イメージの作成に使用する、色を制御するカスタムのカラーテーブルを作成するために、ブライトネス&コントラストコントロールの制御ユーティリティを使う場合は、このガイドを参照してください。『Image Processing Guide』と同様に、ジョブの設定に携わらない限り、このガイドに記載されている情報はオペレータの方には必要ありません。

➤ **Supplies and Consumables Catalog (消耗品カタログ)**

文書A-61403 : Kodak i1800 Series Scanner Firmware, Drivers and Users Guide CDの \Documentフォルダに、英語版のみがPDFファイルで収録されています。

このカタログを利用して、注文する消耗品キットのサイズ（ラージ、エクストララージなど）を検討できます。コダックドキュメントスキャナ用のすべての消耗品が記載されています。

➤ **オンラインヘルプ**

スキャナドライバ（TWAIN）には、スキャナ設定に関する詳細を参照できる、オンラインヘルプが用意されています。お使いのスキャンアプリケーションによっては、このツールを利用できないこともあります。ご利用のアプリケーションがこのヘルプをサポートしている場合、このツールは必要な情報を素早く探すために大変便利です。

➤ **www.Kodak.com**

弊社Webサイトには、最新のスキヤナ情報やドライバが公開されています。ドキュメントスキヤナに関連するWebページにアクセスする場合は、以下のURLをご利用ください。

www.kodak.com/go/di	ドキュメントスキヤナに関する一般情報が記載されています。
www.kodak.com/go/disupport	スキヤナのファームウェアやドライバのアップデート、関連ドキュメント（PDF）を無料でダウンロードできます。

コダックはドライバのアップデートを通じて、頻繁にスキヤナに機能を追加しています。定期的に弊社Webサイトを参照して、最新の情報やドライバを入手してください。ユーザーズガイドや他の参考資料を紛失した場合にも、WebサイトからPDFファイルを簡単にダウンロードすることができます。

アクション

スキヤナのホストPCのデスクトップ上に「コダックスキヤナのマニュアル」という名前のフォルダを作成し、以下のファイルをコピーしておけば、オペレータが必要に応じてマニュアルを簡単に参照することができます。

ユーザーズガイド (x:\UserGuide\User's Guide xxx.pdf)

消耗品 (x:\Supplies and Consumables.pdf)

クイックガイド (x:\Documentation\English\Quick Tips Guide.pdf)

また、このフォルダ内にWebページ<http://www.Kodak.com/go/disupport>へのショートカットも作成してください。

アクション

スキヤナ本体のドア内部にあるポケットには、ユーザーズガイドとクイックガイドの印刷版を保管してください。

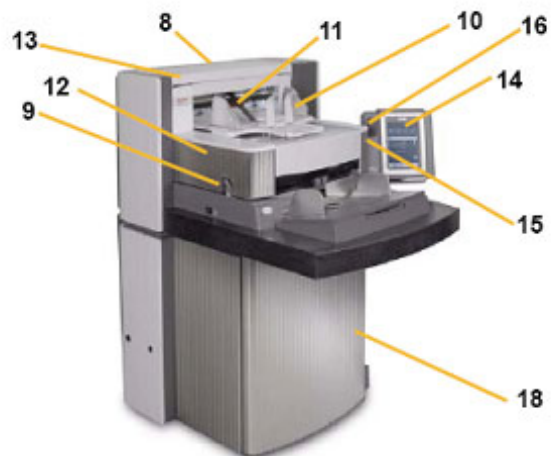
スキャナの操作

カウントオンリーモードを使ったスキャナのデモンストレーションを行います。また、インストラクターからコダックi1800 シリーズスキャナの基本構成が説明されます。

電源スイッチは2つありますが、スキャナ背面にある電源スイッチは通常は使いません。



前部



- 1 電源スイッチ
- 2 入力エレベータ
- 3 入力エレベータ延長トレイ
- 4 入力エレベータサイドガイド
- 5 フィードモジュール
- 6 用紙センサ
- 7 ギャップリリースボタン

- 8 サービスKナンバー
- 9 ポッドリリース
- 10 出カトレイとエンドストップ
- 11 排紙デフレクタ
- 12 前部プリンタアクセスカバー
- 13 後部プリンタアクセスカバー
- 14 タッチスクリーン
- 15 LED
- 16 作業テーブル高さ調整スイッチ
- 17 高さ調整ワイヤ
- 18 ドア（内側に保管ポケット）

アクション

各オペレータにスキャナの高さを調節させ、原稿の束をカウントオンリーモードでスキャンさせます。

搬送路を通る原稿

オペレータの視点からスキャナを操作したら、次に原稿の視点からスキャナを見ていきましょう。ここでは、入力エレベータから各原稿が順番に超音波重送検知センサを通して、裏面のイメージ処理、表面のイメージ処理が行われ、最終的に出力されるまでの過程を学習していきます。この学習を通じて、スキャナ搬送部の各構成を理解できます。また、このコースの後半で取り上げる重要な部分についても説明していきます。スキャナの原稿搬送に関する基本的な知識を理解することで、オペレータとして機器の操作をより円滑に行い、生産性を向上させることができます。

- 緑色の警告ラベルに注意してください
- ステージ1：入力エレベータ
 - オフセットスキャン用に独立して位置を調整できるサイドガイド
 - 用紙センサ
 - ロック／ロック解除スイッチ
 - 長尺原稿用ワイヤー紙押え
 - 4段階のエレベータポジションを設定するために、スキャンアプリケーションを使用します。
- ステージ2：スタックからの原稿セパレーション
 - ポッドの開け方
 - 以下の部品の位置と役割：
 - プリセパレーションパッド
 - セパレーションローラ
 - フィードモジュール
 - 厚い原稿や損傷した原稿を給紙する場合に、ギャップリリースボタンでセパレーションローラを下げることを説明し、デモンストレーションします。
- ステージ3：イメージ処理前の原稿搬送
 - 搬送部ローラ、超音波重送センサ、およびパッチヘッドセンサを確認します。
 - プリンタバッフルを確認し、プリンタのバックグラウンドストリップ（表）を取り外し、表面用インクブロッタを出します。
- ステージ4：イメージ処理
 - イメージバックグラウンド。取り外して擦り傷などについて説明します。白バックグラウンドアクセサリと、その使用方法について説明します。
 - イメージングガイド（上部と下部）。白パッチ、イメージングガイドの取り外し、および静電クリーニングクロスを使ったイメージングガイドのクリーニング方法について説明します。上部イメージングガイドには、インク汚れを防止する溝があり、下部イメージングガイドにはそれがないことを説明します。
 - ランプ。お客様が交換することはできません。
注： 下部ランプの間にはカバーガラスがありますが、上部ランプにはありません。
上部カメラエリアには、何も入らないようにしてください。

- ステージ5：イメージ処理後の原稿搬送
 - 後部インクプロッタの位置と交換方法を説明します。
- ステージ6：スキャン後の書類の積載
 - 出カトレイのサイドガイドとエンドストップを確認します。トレイ下部にあるワイヤレッグを使って、出カトレイをさまざまな位置に調整できることを確認します。また、長尺原稿用ワイヤー紙押えや短い原稿用のスタッカについても説明します。

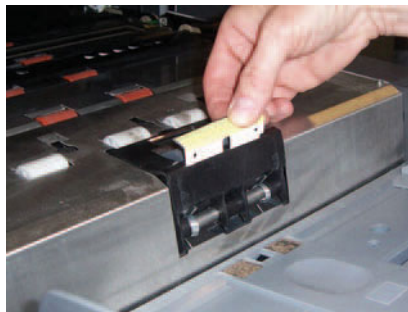
アクション

搬送部に関する質問に回答します。

消耗品の交換

このセクションでは、消耗品について説明します。また、これらの消耗品の正しい交換手順についても説明していきます。乗用車を安全に運転するために定期的にオイルや摩耗したタイヤを交換しなければならないように、スキャナの消耗品も定期的に交換する必要があります。消耗品の摩耗時に適切に交換していれば、原稿の給紙に関する問題を減らすことができます。

『ユーザーズガイド』の「メンテナンス」の章にある、交換手順を参照してください。



プリセパレーションパッド: およそ原稿25万枚ごとに、プリセパレーションパッドを交換することをお勧めします。



フィードモジュールタイヤとセパレーションローラ
タイヤ: タイヤの寿命は用紙タイプ、環境、クリーニング状況によって異なります。清潔な非NCR、USレターサイズ、20ポンドのボンド紙の原稿を横長方向に給紙した場合、平均的なタイヤ寿命は、約60万枚になります。フィーダの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤはすべて同時に交換してください。

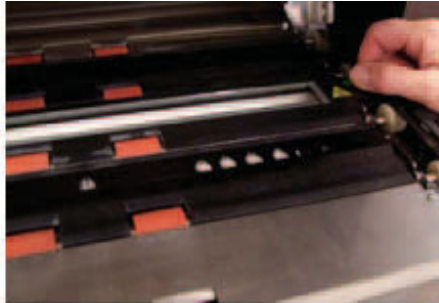


フィードモジュール: タイヤを4回交換するごとに、1回交換してください（約240万枚スキャン後）。新しいフィードモジュールとセパレーションローラは同時に取り付けてください。



セパレーションローラ: タイヤを4回交換するごとに、1回交換してください（約240万枚のスキャン後）。新しいフィードモジュールとセパレーションローラは同時に取り付けてください。

ヒント: お客様に、新しいタイヤを取り付けたフィードモジュールとセパレーションローラを用意するように提案してください。こうすれば、フィードモジュールとセパレーションローラを素早く交換でき、ダウンタイムを最低限に抑えることができます。フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤ交換は、スキャナの電源を落としてから行います。



イメージングガイド: イメージガイドに大きな傷がある場合や、スキャンしたイメージの品質が悪くなった場合にのみ交換してください。通常イメージガイドの傷によるイメージ品質の劣化は、搬送部の通過時に用紙の搬送方向に発生する線や縞状の汚れとして現れます。



バックグラウンド: バックグラウンドに傷がある場合や、スキャンしたイメージの品質が悪い場合にのみ交換してください。傷のある黒バックグラウンドが原因でイメージ品質が低下して、イメージの左側や右側に黒枠が残ることがあります（イメージを回転しない場合）。

アクション

- オペレータに対して、ユーザーズガイドの「メンテナンス」の章にある交換手順を実演します。
- オペレータ各自に、これらの消耗品を取り外し、交換させます（フィードモジュールやセパレーションローラのタイヤ交換も含む）。
- このトレーニングガイドの最後にある消耗品交換ログをコピーして、これをスキャナのドア内側にある保管ポケットに保管します。消耗品交換時には、このログに記録しておきます。

メンテナンス

原稿を搬送するスキャナでは、紙埃が発生し、それが搬送部に溜まったインクを吸収して、他の原稿に付着することがあります。ここでは、スキャナの正しいクリーニング手順について説明していきます。原稿搬送型のスキャナで、イメージ品質に関する問題で一番多いのが、スキャンしたイメージに線や縞状の汚れが出たり、イメージに黒枠が付いたりする問題です。コダックが推奨するクリーニングスケジュールを守る事で、不適切なメンテナンスが原因のスキャン中断やサービスへの問い合わせなどの、無駄な時間と手間を回避することができます。ここでは、スキャナのクリーニングに必要な消耗品やクリーニング用品に関する説明も行います。また、スキャナクリーニング時に禁止されている事項についても取り上げます。

- 『ユーザーズガイド』の「第5章 メンテナンス」を開いて、以下の事項に注意しながらスキャナのクリーニング手順を確認してください。
 - ホコリを取り除くには、搬送部には必ず掃除機を使用してください。
 - スキャンしたイメージに、原稿の搬送方向に線や縞が入る場合、イメージングガイドや原稿通過部分（ランプ間の下部カバーガラス）にホコリや紙くずが残っている可能性があります。イメージングガイドは表側だけではなく、裏側も掃除してください。
 - イメージングガイドの表側とは、搬送路の上部（ポッド側）で、裏側とは搬送路の下部（ベース側）を示します。スキャンしたイメージの表面に縞状の模様が発生する場合、ポッド内のイメージングガイドを清掃します。
 - 原稿の裏面をスキャンする場合、下部イメージングガイドの下にあるカバーガラスにホコリがたまる可能性があります。スキャナのクリーニング時には、下部イメージングガイドを取り外して、このカバーガラスも清掃してください。
- クイックガイドで、メンテナンスを行う目安（頻度）を確認してください。

SCANNER LED

Color	Function
Green	Steady: When the power switch is turned on, the scanner will go through a power-up sequence and display the title screen when the scanner is ready. Flashing: Scanner is in power save mode. To resume, if there is paper in the input elevator, take the paper out and put it back in. If no paper is in the input elevator, put paper in.

VIEWING THE OPERATOR LOG

Chapter 6, Troubleshooting in the User's Guide provides a description of the operator messages as well as a Problem Solving chart. The Operator Log can be accessed by touching Operator Log on the touchscreen at through the Home Standby Tool.

Accessing the Operator Log from the Touchscreen.

1. From the Home screen, touch Operator Log.

NOTE: The Operator Log only displays messages since the last power cycle of the scanner. Only the Scan Validation Tool can display all messages that have occurred.

Accessing the Operator Log from the Scan Validation Tool

1. Select Scan>Programs>Home>Accessed Imaging>Scan Validation Tool.
2. From the Home Figure box, select TRASH.
3. From the Check box, select Message Scanner: YES and click OK.
4. Click the Scanner icon to display the Main screen.
5. Click the Settings button to display the Settings screen.
6. Click the Device button to display the Device screen.
7. Click the Diagnostics button to display the Diagnostics screen.
8. From the Log ID, select Operator from the dropdown box to display the Operator Log.

CLEANING AND MAINTENANCE

Cleaning your scanner and preventative maintenance on a regular basis is required to ensure the best possible image quality.

NOTE: Certain document types generate more paper dust and debris and may require more frequent cleaning than recommended.

Following is a recommended preventative maintenance procedure to prevent costly downtime during production scanning.

IMPORTANT:

- The Roller Cleaning Pad contains sodium hydroxide (caustic) and sodium silicate which can cause eye irritation. Refer to the MSDS for more information.
- Static-free wipes contain isopropyl alcohol which can cause eye irritation and dry skin. Wash your hands with soap and water after performing preventative procedures. Refer to the MSDS for more information.
- Use only the recommended cleaning supplies.
- Do not use compressed air.

PROCEDURES

Task # / Procedure	Start of day	Middle of shift	End of shift
1. Vacuum output tray and input areas	x		
2. Clean all rollers	x		x
3. Vacuum transport area	x	x	x
4. Remove and vacuum upper background strip	x		
5. Remove and clean imaging guides	x		x
6. Vacuum under imaging guides	x		x
7. Run transport cleaning sheet	x		x
8. Wipe imaging guides with cloth	x	x	x

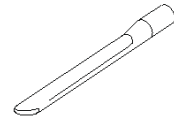
For detailed cleaning and replacement procedures, see Chapter 5, Maintenance in the User's Guide. Several of the cleaning procedures require the use of a vacuum cleaner and attachments (i.e., small brush, service tool, etc.).

TASKS

1. Turn off the scanner.
2. Remove the output tray.
3. Vacuum the output tray area and the input area (input elevator) using a brush attachment of a vacuum cleaner.
4. Open the pod.
5. Clean all rollers with a roller cleaning pad (i.e., upper and lower rollers, head scale bars and separation roller bars), inspect the bars and pole-attachment pad for wear and replace if necessary. Clean the transport area using a brush attachment of a vacuum cleaner. When cleaning this area, pay particular attention to the following areas:
 - the edges of the transport
 - the reflective tape near the front of the transport
 - the reflective tape near the front of the pod
 - the three rubbered sensors at the base of the transport and the pod
6. Remove the upper and lower background strips and vacuum these areas. When finished, reinsert the strips.
7. Remove the upper and lower imaging guides.
8. Using the service tool, vacuum any dust and debris in the imaging guide area, particularly on the glass plate between the lower lamps.
9. Clean both sides of the imaging guides with a static-free wipe.
10. Dry the imaging guides with a dry static-free wipe.
11. Inspect the imaging guides for any scratches and replace them if necessary.
12. Reinstall both imaging guides.
13. Close the pod.
14. Run a transport cleaning sheet through the scanner.
15. Turn on the scanner.
16. Open the pod.
17. Wipe the exposed side of the imaging guides with a dry-free cloth.
18. Close the pod and scan a test image to ensure image quality.

➤ 適切なクリーニング用品を確認します。

- **掃除機**: 非導電性ブラシや隙間ノズルなどのアタッチメントを持つ掃除機をお勧めします。



896 5519



853 5981



169 0783

キャリブレーション

ここでは、i1800 シリーズスキャナのイメージと超音波重送検知センサのキャリブレーションについて説明します。

➤ **イメージキャリブレーション**

本スキャナは、イメージの再キャリブレーションが必要になるまで数百時間も稼働できるように設計されています。イメージキャリブレーションは、時間経過に伴うランプ光量の変化を補正する場合にのみ必要になります。イメージキャリブレーション要求を知らせるメッセージが表示された場合にのみ、イメージキャリブレーションを行ってください。イメージキャリブレーションは、スキャナが汚れていない状態で実施する必要があります。イメージキャリブレーションを実施する前に、イメージングガイドや下部カバーガラスをクリーニングして、ホコリ等の汚れを完全に除去してください。搬送路を清掃しない状態でイメージキャリブレーションを実施すると、数回スキャンしただけでイメージに線や縞状の模様が発生してしまいます。これらのイメージ品質に関する問題は、搬送路のゴミを置いたままキャリブレーションすることにより発生します。汚れた状態のスキャナでイメージキャリブレーションを行うと、スキャナのイメージ処理時にホコリがキャリブレーションされてしまいます。

- スキャナにキャリブレーション要求のメッセージが表示された場合にのみ、スキャナをキャリブレーションしてください。
- 汚れた状態のスキャナでキャリブレーションしないで下さい。
- キャリブレーション要求のメッセージが表示された場合、12x12インチの白いキャリブレーションシートを使ってイメージキャリブレーションを行います。これ以外のシートは使用しないでください。

➤ **超音波重送検知のキャリブレーション**

超音波センサキャリブレーションは、スキヤナの超音波重送検知センサを調整することを目的としています。通常の運用では、このキャリブレーションを実施する必要はありません。超音波センサキャリブレーション要求のメッセージが表示された場合にのみ、超音波センサキャリブレーションを実行してください。

- 超音波センサキャリブレーションの要求メッセージが表示された場合は、USレターサイズまたはA4サイズの20lb.または75 g/m²のボンド紙をフィーダの中央に縦方向に給紙して、超音波センサキャリブレーションを行います。

運用環境で行うスキャン作業

ここまで、スキヤナの基本的な操作について学習してきました。以降のトピックでは（印刷／タッチスクリーン／アクセサリ）、スキャン作業の種類に応じて異なる操作について取り上げていきます。自分が目的とするスキャン作業の内容を講師が理解していない場合は、以下のような情報を知らせてください。

- イメージアドレス管理を使用するか？
- スキャン時に原稿に印字するか？
「はい」の場合：
 - 表面にスキャン前印字、裏面にスキャン後印字、またはその両方を行うか？
 - 印字する場合、原稿の搬送方向のページ下部と反対側に高解像度で文字を印字する必要があるか？
- パッチセパレータシートを使用するか？
- 17インチ以上の原稿をスキャンするか？
- 薄い原稿をスキャンするか？
- 1枚ずつ原稿を手動で給紙する必要があるか？

アクション

講師は運用環境における基本的なスキャンニーズを理解、確認し、必要に応じて以降のセクションを調整する必要があります。

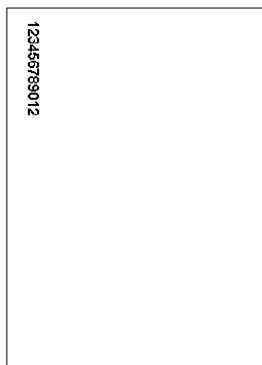
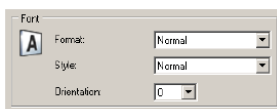
基本的な印字設定

運用環境でエンハンスプリンタを使用する場合、スキャナ運用時に交換と保守作業が重要な役割を果たします。

現在の運用環境では印字する必要がなく、また今後もその必要がない場合は、このセクションは省略してください。

『ユーザーズガイド』の「第4章 エンハンスプリンタとパッチリーダーの使用法」を開いて、以下のことに注意しながら印刷手順を確認してください。

- エンハンスプリンタでは、用紙搬送方向のページ下部に40文字まで印字することができます。



- 表面および裏面印字の使用方法について説明します。
 - **表面（スキャン前）**：スキャン前に、原稿の表面に印字します。原稿に印字された文字は、スキャンされたイメージにも表示されます。一般的には原稿にイメージのイメージアドレスを印字して、社内の文書管理システムでイメージを追跡、管理する場合などに利用されます。物理的に原稿を簡単に識別できるため、原稿を再スキャンする場合にも便利です。また、表面スキャン前印字は、スキャンした日時を印字する場合にも利用できます。
 - **裏面（スキャン後）**：スキャン後に、原稿の裏面に印字します。原稿に印字した文字は、スキャンされたイメージには表示されません。この印字方法は、表面印字ほど一般的には用いられません。裏面印字は、法的書類など、スキャンするオリジナルの原稿上に余計な文字を入れたくないような場合に使用します。
- 表面と裏面印字を実演し、印字される場所を説明します。

- 表面プリンタを使って、インクカートリッジの交換方法を実演します。



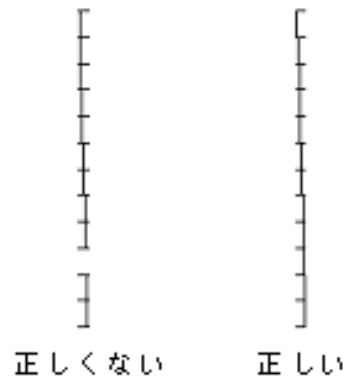
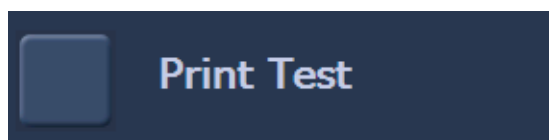
- 表面と裏面印字の水平印字位置を説明します。サイドガイドの位置と入力トレイの調節状況によって、原稿上の印字位置が決定することを説明します。



- 表面印字から裏面印字への変更方法を実演します。
 - まずキャリアを移動してから、スキャナを再起動します。
- 表面と裏面のインクブロッタの交換方法を説明します。
- お使いのアプリケーションでスキャン時に「**印字をスキップ**」オプションが有効になっていることがあります。このオプションが選択されると、次の原稿への印字が省略されます。このオプションを選択すると、1枚だけ印字が省略されます。



- スキャナのタッチスクリーンから、印字テスト機能が利用できます。印字テストを実行すると、プリントヘッドの各ジェットノズルを使って、はしご状の垂直線が印刷されます。線が印字されない場合は、その位置のジェットノズルが動作していません。このような場合、静電クリーニングクロスを使ってプリントヘッドに軽く触れると、ジェットノズルの詰まりが解消されることがあります。印字テスト実行する場合は、無地の白紙を使用してください。



アクション

各オペレータは、インクカートリッジの取り外し、交換作業を実施してください。

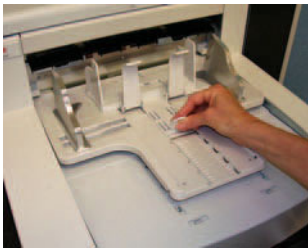
注： 印字テストの方法については、後ほど説明します。

アクセサリの概要

ここでは、i1800 シリーズスキャナで利用できるアクセサリについて説明していきます。実際にスキャンする原稿の種類や印字要件によって、必要なアクセサリは異なります。また、アクセサリが不要な場合もあります。

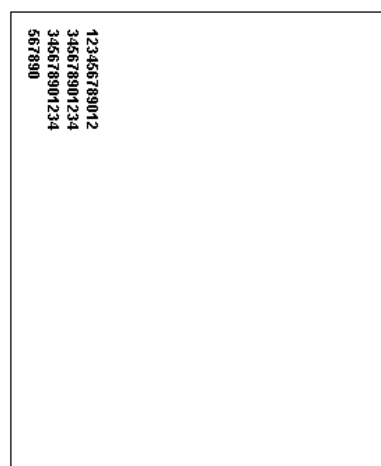
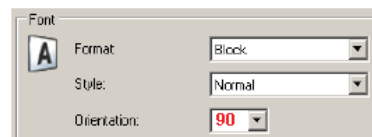
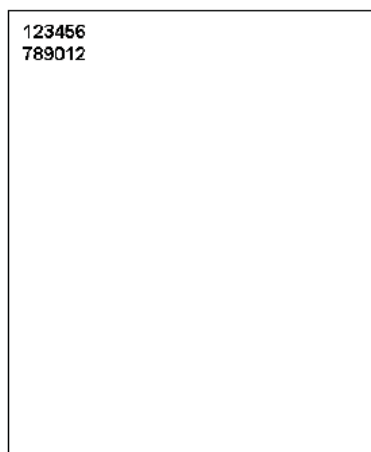
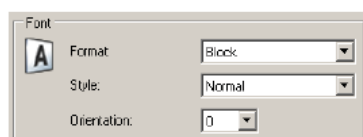
➤ 短い原稿用出力トレイ

このアクセサリはスキャナに同梱されています。このアクセサリは、小切手サイズの原稿をスキャンする場合に使用してください。



➤ 高解像度プリンタ

- 600dpiの解像度で表面のスキャン前印字を可能にする別売のアクセサリです（標準のエンハンスプリンタの解像度は96dpi）。高解像度プリンタは、コダックのサービスマンが取り付けます。
- 高解像度プリンタを取り付けた後は、裏面印字に変更できません。
- ブロックモード印字は、高解像度プリンタでのみ利用できます。ブロックモード印字では、用紙に渡って6文字まで印字することができます。



➤ **手動フィードシェルフ**

お客様自身で取り付け、取り外しできる別売のアクセサリです。手動フィードシェルフは、原稿を1枚ずつ手動で給紙する場合に使用します。手動フィードシェルフを取り付けると、フィードモジュールのタイヤが常時回転し、挿入された原稿を搬送部に送ります。



➤ **白バックグラウンドアクセサリ**

白バックグラウンドアクセサリは、スキヤナに同梱されている黒バックグラウンドに代わる、別売のアクセサリです。黒バックグラウンドは磁石で取り付けられているので、白バックグラウンドを取り付ける場合、お客様自身で簡単に取り外すことができます。スキャンする原稿が非常に薄い場合、付属の黒バックグラウンドでは裏が透けて暗くなったり（カラー／グレースケールスキャン時）、ノイズや斑点が発生する（白黒スキャン時）ことがあります。黒バックグラウンドから白バックグラウンドに変更した場合、またはその逆を行った場合は、スキヤナを再起動する必要があります。白バックグラウンドを取り付けた場合、イメージの自動クロッピングや枠線除去機能は利用できません。イメージキャリブレーションを行う場合にも、白バックグラウンドが必要です。

➤ **長尺原稿用延長ワイヤ**

17インチを超える原稿をスキャンする場合は、サービスマンからこれらの延長ワイヤを入手してください。このワイヤは2本まで無料です（入力トレイ用と出力トレイ用に各1本）。2本以上必要な場合は、コダックから別途ご購入ください。



これらの延長ワイヤは、入力／出力トレイに取り付けられ、長い原稿の給紙と排紙を補助します。ワイヤは、3種類のサイズが用意されています。

部品番号	説明	入力トレイ	出力トレイ (標準位置)	出力トレイ (前方位置)	実際の紙 押えの長さ	注
5E4754	26インチワイヤ (出力)	24.5"	26.5"	30.5"	22.228"	
9E3216	30インチワイヤ (出力)	28.5"	30.5"	34.5"	26.228"	
9E5277	34インチワイヤ (入力／出力)	35"	37"	41"	32.228"	最高100 枚まで

➤ **薄紙専用消耗品キット**

非常に薄い紙をスキャンするお客様向けのキットです。このキットには、用紙重量が25g/m²～75g/m²kg (7～20ポンド) の範囲の薄紙の給紙性能が向上する部品が含まれています。



896 5279

アクション

顧客の生産性向上に役立つアクセサリを説明します。

OCPとタッチスクリーンの概要

コダックi1800 シリーズスキャナを簡単に使用できるように、フルカラーのタッチスクリーンが用意されています。スキャナのオペレータ用機能はすべて、OCP（オペレータコントロールパネル）から利用できます（複数言語対応）。ここでは、OCPの使用とメンテナンスについて説明していきます。[イメージアドレス - 有効] と [イメージアドレス - 無効] のタッチスクリーンについて説明します。（利用しない方の説明は無視して構いません）

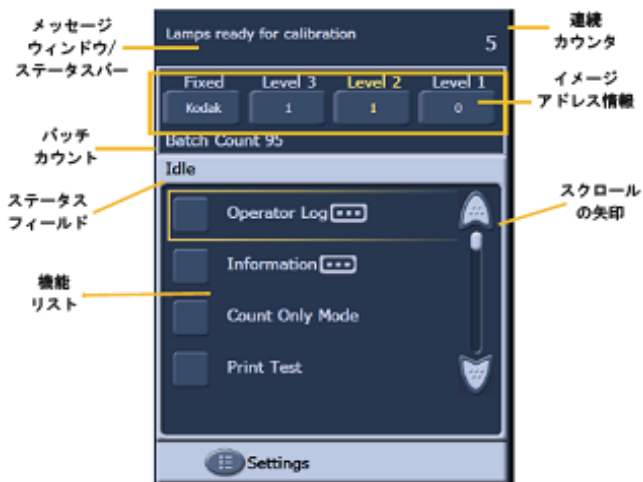
アクション

実際に顧客が使用するモードに合わせて、スキャナのイメージアドレスモードを設定する必要があります。オペレータによるイメージアドレスモードの変更は、想定されていません。

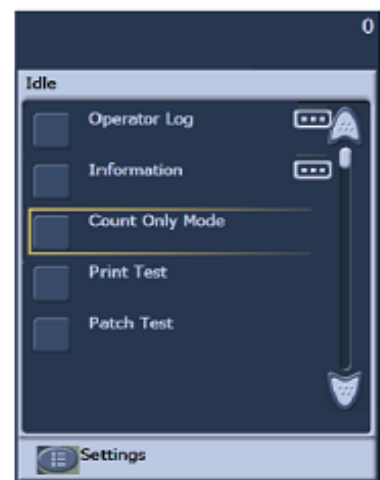
タッチスクリーンの各項目は指で選択してください。ペンなどを使って選択しないでください。ペンなどの道具を使用すると、タッチスクリーンが故障することがあります。この場合は、サービス契約の保証の対象外になります。

➤ 待機

スキャナの電源を入れると、待機画面が表示されます。この時点では、各画面に移動してスキャナをテストしたり、スキャナ情報やログを表示することができます。ホストコンピュータでスキャンジョブが設定されない限り、スキャンを開始することはできません。



イメージアドレスが有効の場合



イメージアドレスが無効の場合

- 待機画面の各フィールドを確認します。

- オペレータログの表示
 - スキャナの電源を落とすと、このログはリセットされます。ただし、Scan Validation Tool（スキャンバリデーションツール）を使って内部スキャナログにアクセスすれば、ログの内容を参照することができます。
 - 最初にスキャナの電源を入れた場合にログに記録されるタイムスタンプ12:00:00は正常です。スキャナをコンピュータに接続し、現地時間を取得するまでは、このようなタイムスタンプで記録されます。
- 情報
 - 前回のイメージアドレス／スキャンした原稿の合計／ファームウェアのバージョン
- カウントオンリーモード
 - 実際にはスキャンしないで、原稿枚数を数えるだけの場合は、この機能を使用します。また、メンテナンスで搬送路にクリーニングシートを通す場合も、このモードを使用します。
- 印字テスト
 - はしご状のテストパターンを印字します（詳細は、「基本的な印字設定」を参照してください）。
- パッチテスト
 - パッチシートの品質をテストする場合に使用します。スキャナがパッチシートを読み取らない場合は、このテストを実行してパッチシートの印刷品質を確認してください。

➤ 設定

- **音量**：スキャナのスピーカの音量を調節する時に使用します。
- **トーン**：重送検知などの警告音を変更する場合に使用します。この機能は、同じ場所に複数のスキャナがある場合などに便利です。
- **言語**：OCPIに表示する言語を変更できます。オペレータは、好みの言語を簡単に選択することができます。スキャナを再起動する必要はありません。

アクション

各オペレータは、タッチスクリーンのメニューを利用して以下の作業を行ってください。

- [メッセージログ] 画面を表示します。
- [スキャナ情報] 画面を表示します。
- 原稿の束をカウントオンリーモードでスキャンします。
- 印刷機能を利用する場合、フィーダに白紙を入れて印字テストを実行します。
- パッチシートを使用する場合、フィーダにパッチシートを入れてパッチテストを実行します。
- 音量、トーン、言語を各自の好みに合わせて設定します。

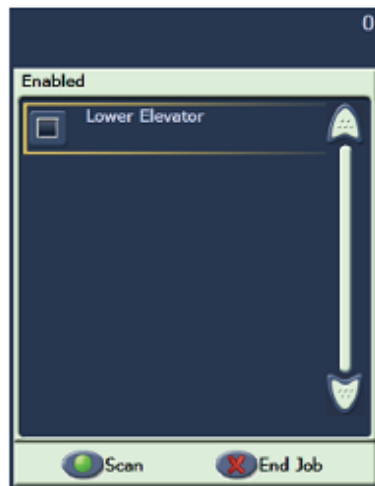
➤ **【有効】画面**

スキャンを開始する前に、コンピュータのスキャンソフトウェアでスキャナにスキャンジョブを設定する必要があります。スキャナの設定を完了したら、スキャンを自動スタートさせたり、オペレータが開始するまで待機状態にすることができます。

入力トレイに用紙がセットされている場合、スキャンの自動開始を有効にすると、自動的に給紙が始まります。

入力トレイに用紙がセットされていない場合は、スキャンの自動開始を有効にすると、10秒のカウントダウンメッセージが表示されます。この時間内に用紙を入力トレイにセットすると、自動的にスキャンが始まります。

自動開始を行わない場合は、以下のようなタッチスクリーンが表示されます。必要に応じて入力エレベータに用紙を追加して、[スキャン] ボタンを選択すると給紙が始まります。



有効 - イメージアドレス - オフ

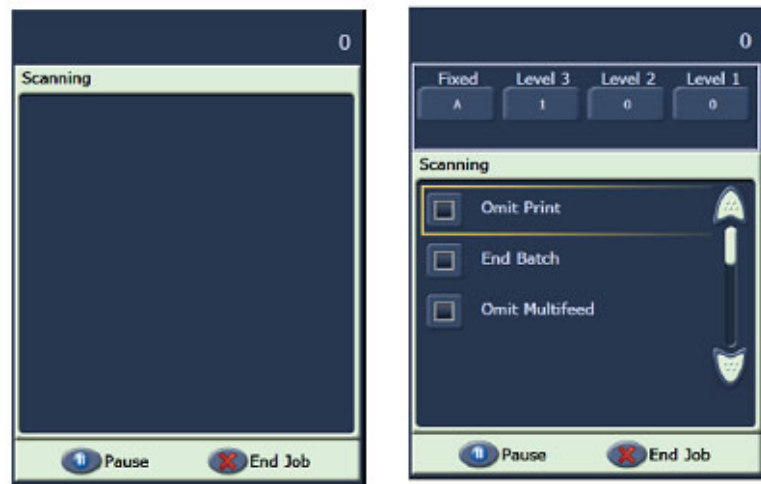


有効 - イメージアドレス - オン

➤ 【スキャン】画面

スキャナが給紙を始めると、【スキャン】画面が表示されます。この画面には、最高3つの機能ボタンが表示されます。表示されるスキャンボタンは、コンピュータのスキャンソフトウェアにより異なります。【一時停止】ボタンは常に表示されます。このボタンを使って、原稿の給紙を一時停止することができます。【一時停止】ボタンを選択した場合、【スキャン】ボタンを押すとスキャン作業が再開されます。スキャン中、給紙されたページ数がこの画面の右上に表示されます。

イメージアドレスを有効にしている場合は、イメージアドレスウィンドウが表示されます。ここには、次にスキャンされる原稿のイメージアドレスが表示されます。イメージアドレスを手動で変更する場合は、変更したいレベルボタンを選択してください。コンピュータのスキャンソフトウェアがバッチ機能を有効にしている場合、イメージアドレスの左下にバッチカウントが表示されます。

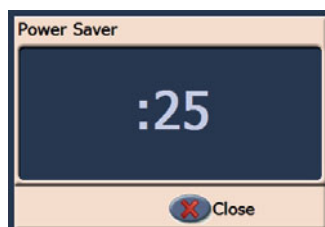


スキャン作業 - イメージアドレス - オフ スキャン作業 - イメージアドレス - オン

アクション

講師は、 Automatically start scanning、 Save Images To Files オプションを有効または無効にして、SVT（設定のショートカット-カラードキュメントを選択）からスキャンジョブを開始してください。オペレータは原稿をスキャンしたり、【一時停止】ボタンを使用します。

➤ 【省電力】ウィンドウ




スキャンソフトウェアにより省電力機能が有効にされている場合、スキャナの待機状態時に省電力カウントダウンウィンドウが表示されます。このメッセージは、待機状態が5～60分続いた場合に表示されます。このタイマーが0になるまでに【閉じる】ボタンを選択しないと、スキャナはシャットダウンされます。スキャナを再開するには、入力トレイに用紙を追加するか、入力トレイから用紙を取り除いてください。

スキャンバリデーションツール

スキャンのニーズに応じて、i1800 シリーズスキャナで利用できるさまざまなスキャンソフトウェアがあります。ホストコンピュータには、Scan Validation Tool（スキャンバリデーションツール）と呼ばれるスキャンユーティリティがインストールされています。このユーティリティを使って、オペレータログを表示したり、スキャンソフトウェアやハードウェアに問題があるかを判断するためにスキャナ動作をチェックすることができます。このユーティリティには、2種類のドライバ（TWAINとISIS）を使ってアクセスできます。このコースでは、スキャナで利用できるオプションの一部だけを取り上げています。ログを参照するには、TWAINドライバを使用します。ドライバのオプションの詳細は、前述の『Image Processing Guide』を参照してください。

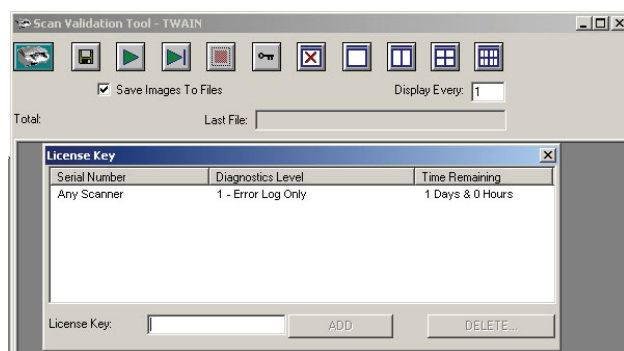
➤ Scan Validation Tool（スキャンバリデーションツール）の起動

コンピュータの [スタート] メニューから、以下の項目を選択します。

1. すべてのプログラム
2. Kodak
3. Document Imaging
4.  Scan Validation Tool

➤ ライセンスキー - キーアイコン

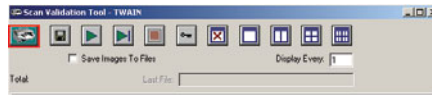
サポートへの電話時に、コダックサポートから8文字のコード（例：WPM3POYQ）が伝えられます。[ライセンスキー] ウィンドウが表示された場合は、このコードを入力します。コードを入力すると、スキャナログが参照できます。このログを参考に、スキャナに問題があるかどうかを判断します。コードはすべて大文字で入力します。また、コードの有効期間は1日です。



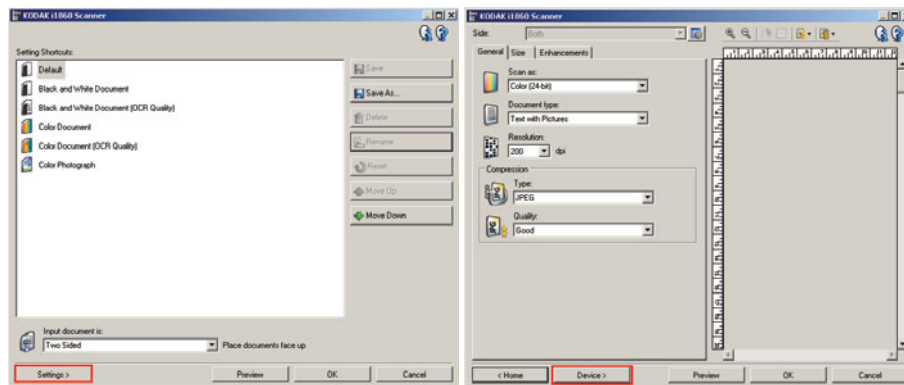
➤ スキャナログの表示

Scan Validation Tool（スキャンバリデーションツール）を使ってオペレータログを表示するには、以下の手順に従ってください。

1. SVTのセットアップ
ボタンをクリック

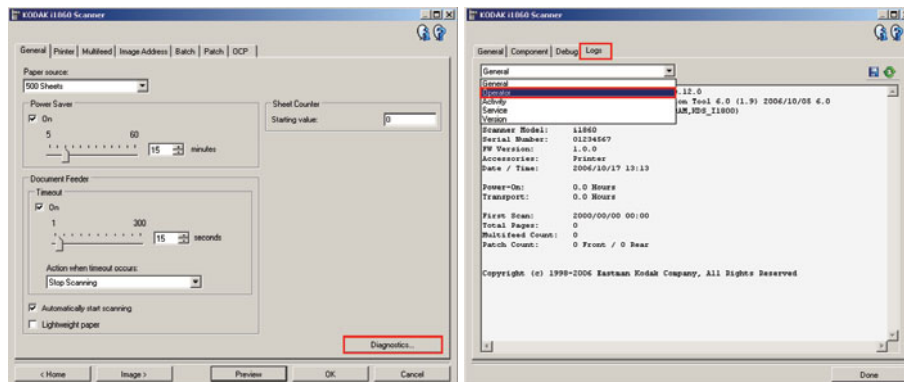


2. 設定ボタンを
クリック



3. デバイスボタン
をクリック

4. 診断ボタンを
クリック



5. ログのタブを
クリックし
[オペレータ
ログ]を選択

注： 初めてスキャナの電源を入れた時に記録されるログエントリのタイムスタンプ
01/01/1970 00:00は、問題ありません。スキャナがホストコンピュータと接続して、
現地時刻を取得するまでの間は、デフォルトの日時が使用されます。

[01/01/1970 00:00 docs=682] id=020 パワーオンセルフテスト完了
[01/01/1970 00:00 docs=682] id=280 ランプ準備完了（スキャン）
[01/01/1970 00:00 docs=682] id=359 ランプの準備ができていません（スキャン）

アクション

オペレータはScan Validation Tool（スキャンバリデーションツール）を起動して、オペレータログを表示してください。

トラブルシューティング

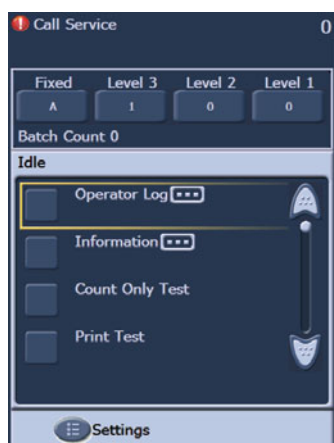
スキャナ運用時には、オペレータによる対処が必要な問題が発生することもあります。ここでは、一般的な問題とその解決方法について説明していきます。

▶ オペレータコントロールパネルのメッセージ

オペレータコントロールパネルの [メッセージ] ウィンドウには、さまざまなメッセージが表示されます。これらのメッセージの詳細は、『ユーザーズガイド』の「第6章 トラブルシューティング」にある「メッセージ一覧」を参照してください。

ランプのスキャン準備ができました	280	お知らせメッセージ。ランプの予熱が終了しました。スキャンを開始できます。
------------------	-----	--------------------------------------

サービスに連絡するように指示するメッセージが表示された場合は、スキャナの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。引き続きこのメッセージが表示される場合は、オペレータログのメッセージコードと、メッセージが表示された時にどのような作業を行っていたか（電源オン、紙詰まり、カラースキャンなど）を書き留めます。その後、コダックサービスセンターにこれらの情報を連絡してください。



➤ 紙詰まりの解消

搬送部から原稿の排出に失敗すると、「搬送路でジャム発生」メッセージが表示されます。紙詰まりを解消するには、以下の手順に従ってください。

注： 以下の手順は一般的なガイドラインです。アプリケーションの設定によって、手順が異なる場合があります。

1. 出力トレイからスキャンした原稿を取り除きます。
2. ポッドを開けます。
3. 搬送内部から詰まっている原稿を取り出します。
4. ポッドを閉めます。
5. 正常にスキャンされた最後の原稿を確認します。
6. これからスキャンする原稿の束の上に、スキャンされなかった原稿をセットします。

紙詰まりを解消する場合は、スキヤナのポッドを開けて、すべての原稿が搬送路から取り除かれていることを確認する必要があります。ジョグ搬送ボタンはありません。重送検知警告と紙詰まり警告では、警告音が異なるので注意してください。

➤ 重送検知とアラーム

i1800 シリーズスキヤナの搬送部には、3つの超音波重送検知センサがあります。



これらのセンサは超音波を使って、同時に複数の原稿が重なって搬送されていないかどうかを確認します。重送検知時の動作は、以下の3種類から選択できます。

- **アラームのみ**：重送検知時にアラームを鳴らしますが、原稿の搬送は停止しません。
- **アラーム - 搬送を停止してスキャンを無効にする**：重送検知時にアラームを鳴らし、原稿の搬送を停止します。スキャン作業を続行するには、コンピュータからスキヤナを起動（有効）する必要があります。
- **アラーム - スキヤナを有効状態のまま搬送を停止する**：重送検知時にアラームを鳴らし、原稿の搬送を停止します。スキャン作業を再開するには、タッチスクリーンの [スキャン] ボタンを選択します。

重送検知メッセージに関連してスキャンが中断される状況には、以下の2種類が考えられます。

- **実際に重送が発生した**：複数枚の原稿が同時に給紙された場合がこれにあたります。この問題の主な原因と対処方法を以下に示します。

- **原稿が物理的にくっついて重なっている。**

- のりなどの粘着物が付着していないかを確認します。
- ホチキスが付いていたり、その痕がひっかかってないかどうかを確認します。
- 原稿の端が破れている場合、それが重なって重送を引き起こすこともあります。
- 長時間に渡って複数原稿が圧迫されていた場合、それが原因で重送が発生する可能性があります。

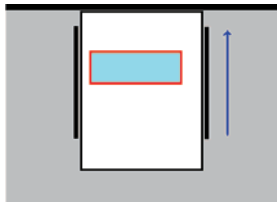
このような問題に対処するには、スキャン前に原稿をきちんと分離、整理してください。給紙する原稿は、ぱらぱらとめくるなどの方法で各ページ間に空気を入れて分離してから、まとめてセットします。

- **静電気による原稿の重なり、付着。**

静電気により複数の原稿が付着する場合があります。このような問題が多発する場合は、スキャン作業場所の湿度を上げて静電気の発生を防止してください。

- **原稿が入カトレイ先端に正しく揃えられていない。**

サイズの異なる複数の原稿を給紙する場合は、入カトレイの先端に合わせて原稿をセットする必要があります。小切手サイズの原稿を先端に合わせてセットしていない場合、各原稿が正しく分離されず、大きな原稿の上に乗った状態で搬送路を通過する可能性があります。



この問題を解決する場合も、事前に原稿の整理を入念に行う必要があります。手作業で入念に原稿を揃えても問題が解決しない場合は、自動用紙揃え機を購入することも検討してください。

- **消耗部品が摩耗している、または正しく取り付けられていない。**
プリセパレーションパッドが正しく取り付けられていない場合、または摩耗している場合、原稿の分離精度が大幅に低下します。また、セパレーションローラのタイヤを正しく清掃し、摩耗している場合は交換することも重要です。

- **プリセパレーションパッドの摩擦不良。**

i1800 シリーズスキャナのプリセパレーションパッドには、パッドの下部に滑りやすい黄色いテープが貼られています。このテープは、原稿がパッドの下部にぶつかりフィードに入り込むことを防止するために貼られています。原稿の重送が発生する場合は、パッドからこのテープを剥がすことができます。これにより、原稿の分離精度が向上します。ただし、重送が頻発しない限り、プリセパレーションパッドの黄色いテープは剥がさないでください。



- **プリセパレーションパッドの異常。**

プリセパレーションパッドの黒いゴムストリップの下側には、粘着物をカバーするワックスペーパーがあります。このワックスペーパーを取り外してはいけません。黒いストリップがセパレーションローラカバーに付くと、プリセパレーションパッドの原稿分離精度が大幅に低下してしまいます。

- **誤って重送が検知された**：実際には1枚だけ原稿が送られていても、重送と認識されることもあります。この問題の主な原因と対処方法を以下に示します。

- **ページに物理的な付属物が付着している。**

原稿に付箋紙が付けられていたり、バーコードラベルなどのステッカーやテープが貼られている場合、重送検知システムがアラームを鳴らします。スキャン前にこれらの付属物を取り外せない場合、付属物が原稿の片面だけに貼られているならば、ソフトウェアの設定でその部分の重送検知センサを無効にすることができます。

- **原稿が非常に厚い。**

非常に厚みのある原稿をスキャンする場合、重送検知アラームが鳴ることがあります。厚みのある原稿を多数スキャンする場合は、この問題を回避するために重送検知の感度を低く設定することができます。ただし、感度を低くした場合は、実際の重送が検知されない可能性もあることに注意してください。

- **折りたたまれた原稿や封筒が含まれている。**
重送検知システムでは、実際の重送と封筒や折りたたまれた原稿を区別することはできません。封筒や折りたたまれた原稿をスキャンする場合は、重送検知を無効にするか、アラームだけを鳴らすように設定してください。
- **超音波重送検知センサが汚れている。**
センサ内に紙くずやホコリがたまっていると、超音波重送検知システムが誤作動してアラームが鳴る可能性があります。メンテナンス時には、センサも清掃してください。

➤ **垂直線**

「メンテナンス」のセクションで説明したように、原稿搬送型のスキャナで発生するイメージ品質に関する問題でもっとも頻繁に報告されるのが、スキャンしたイメージに線や縞状の汚れが出たり、イメージに黒枠が現れる現象です。i1800 シリーズスキャナは、このような問題を最小限に抑えられるように設計されています。しかし、イメージパスにゴミなどがあるとこの問題が発生してしまいます。



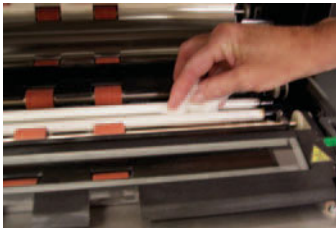
➤ **表面イメージに線が入る**

表面イメージに線が現れる場合は、上部イメージングガイドを取り外して、静電クリーニングクロスを使って完全に清掃します。最良の結果を得るために、包装を開けてクロスを取り出したら数秒間乾かします。イメージングガイドは、表面と裏面の両方を清掃してください。イメージングガイドを清掃したら、ひびや擦り傷がないかどうかを確認します。イメージングガイドに傷や損傷がある場合は、交換する必要があります。イメージングガイドを交換する場合、ガラス部には触れないように注意してください。



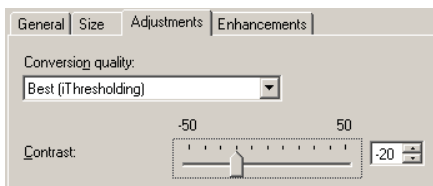
➤ 裏面イメージに線が入る

裏面イメージに線が現れる場合は、表面の場合と同様にイメージングガイドを正しく清掃する必要があります。裏面イメージングガイドは、搬送路のベース部分にあります。裏面イメージングガイドを取り付ける前に、搬送路のベースにある2つのランプ間のカバーガラスを清掃してください。イメージングガイドと同様に、乾いた静電クリーニングクロスを使って、イメージングガイド全体を清掃します。



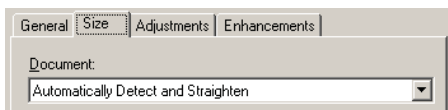
➤ 表面／裏面白黒画像に線が入る（白黒設定の変更）

白黒イメージの線を防止するために頻繁にスキャナを清掃する必要性を確認したら、次に白黒設定（又は変換品質）の変更を検討します。[最高 (iThresholding)] を設定している場合（ご利用のスキャンソフトウェアによってオプション名は異なります）、コントラストの値を減らすとイメージに線が入る確率を減らせる場合があります。



➤ イメージ上の大きい黒枠またはイメージがビューアに小さく表示される。

通常、i1800 シリーズスキャナでは、原稿スキャン時に [自動識別および修正] を行うように設定されています。お使いのソフトウェアによっては、オプション名が異なることもありますが、機能は同じです。この機能を有効にすると、スキャンした原稿の画像が適切に修正されます。



スキャナの黒バックグラウンドが傷付いたり汚れた場合、光の反射により「自動識別および修正」機能が原稿の端を正しく認識できず、片側に大きな黒い枠線が残ることがあります。イメージングガイドやカバーガラスに光を反射するチリやホコリがある場合にも、このような問題が発生します。

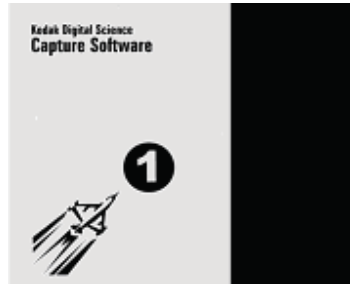
例：



A
「自動識別および修正」オプションが設定されていない状態でスキャンして、ビューアに表示したイメージです。



B
同じ原稿を、「自動識別および修正」オプションを有効にしてスキャンしたイメージです。



C
同じ原稿を、表面スキャン時に黒バックグラウンドの右側に傷や光を反射する物がある状態でスキャンした場合のイメージです。



D
Cと同じイメージですが、スキャンソフトウェアのイメージビューアでウィンドウに合わせてイメージの表示サイズを調節するオプションを有効にしています。

サービスについて

ここでは、米国およびカナダ地域におけるサービスとサポートについて説明していきます。コダックは、世界各国で弊社製品に対するサービスとサポートを提供しています。米国およびカナダ以外の地域の場合は、講師からコダックサービスに関する情報が説明されます。

スキャナ運用時には、オペレータでは対処不可能な問題が発生することもあります。ここではコダックサービスへのお問い合わせ方法などについて説明します。

『ユーザーズガイド』の「第1章 サービスとサポートへのお問い合わせ」を開いてください。

米国およびカナダ地域の電話番号は以下の通りです。

コダックフィールドサービス：1-800-356-3253 (1-800-3KODAK3)

スキャナに関する問題を解決するために、サービスマンの訪問を予約する場合、または次回の点検を予約する場合に、この番号を使用します。

お客様の再販業者： _____

コダックのVAR（付加価値再販業者）がお客様のサポートのお手伝いをいたします。ここに再販業者の電話番号を書き留めてください。サポート契約の購入や、他のサービスを注文する場合に、この番号に電話します。

サービス：1-800-525-6325 (1-800-52KODAK)

コダックは、お客様の事業を成功に導くために役立つ、さまざまなプロフェッショナルサービスを提供しています。スキャナオペレータのトレーニング、コダックソフトウェアアプリケーションのトレーニング、またはスキャナ再設置サービスに関するお問い合わせには、この番号を使用します。

➤ サービスセンターへの問い合わせ

コダックサービスにお問い合わせいただく場合、弊社がサービスを円滑に提供できるようにお願いがあります。電話をかける前に、あらかじめ以下の情報をご確認ください。

- コダックスキャナのKナンバー。
- オペレータログに記載されているエラーコード。
- 問題の内容と詳細。
- サービスマンから電話をかけ直す場合の連絡先電話番号と担当者のお名前。



➤ サービス契約とアップグレード

保守契約対象の場合、またはコダックサービス契約でカバーされている場合、サービスマンから回答時間の詳細や、カバーするサービス時間が案内されます。標準のサービス契約には、年に2回の訪問による点検作業が含まれています。サービス契約をアップグレードすることもできます。詳細は、担当のサービスマンにお問い合わせ頂くか、前述のサービスセンターまでお電話ください。

アクション

オペレータに、Kナンバーのある位置、およびサポート用の電話番号を説明します。

安全性

『ユーザーズガイド』の「第1章 安全性に関する情報」を開いてください。

- **警告ラベル**：スキャナの操作、保守作業時には、警告ラベルの内容をよく読んで、注意事項を守ってください。



注意：可動部品です。触らないでください。



注意：表面が高温になっています。
触らないでください。

- **ユーザへの注意事項**：ユーザや管理者は、機械を操作するにあたり、常識とされる注意を払う必要があります。これに限りませんが、注意事項として以下のものがあります。
 - 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンを外さないようにしてください。
 - 外れやすい装身具、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
 - 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
 - 機械の周辺にある、吸い込まれそうな小さな物はすべて取り除きます。
 - 時々休憩を充分にとって、集中力を保つようにします。
 - 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
 - スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

- **可燃性スプレーとクリーナー**：スキャナのメンテナンス時にスプレー式のダスターの使用はお勧めできません。本機器の保守作業時には、可燃性のスプレーや可燃性のクリーナーは絶対に使用しないでください。

その他

➤ 消耗品の購入

ほとんどのVAR（付加価値再販業者）は、コダックが推奨する消耗品を販売しています。消耗品の購入先をお探しの場合は、講師またはコダックサービスマンにお問い合わせください。

消耗品交換ログ（コダックi1800シリーズスキャナ用）

Kナンバー _____

日付	スキャナの ページ カウント	消耗品の交換				オペレータ名	コメント
		プリセパレーション パッド	ローラに2個 セパレーション	タイヤ フィードモジュール に4個	フィードモジュール		

Kodak

Kodak Japan Ltd.
Commercial Imaging
Sumitomo Twin Bldg.
2-27-1, Shinkawa Chuo-ku,
Tokyo, 104-0033
JAPAN

〒104-0033
東京都中央区新川2-27-1
東京住友ツインビル
コダック株式会社
コマースイマージング事業部

Eastman Kodak Company
343 State Street
Rochester, NY 14650 U.S.A.

© Kodak, 2007. All rights reserved.
TM: Kodak